

平和 と 職業奉仕

（千玄室大宗匠の平和への思いとロータリー）

国際ロータリー第2630地区
職業奉仕委員会
委員長 **原尾 勝**
（岐阜北RC）

令和4年3月25日（金）

於；航空自衛隊岐阜基地
（岐阜県各務原市）

国際ロータリー第2630地区
職業奉仕特別大講演会

「みんな一緒 平和を」

航空自衛隊岐阜基地で現役パイロットに思いを伝える

日本・国連親善大使
国際ロータリー元理事・裏千家15代前家元・元特攻隊員

千玄室 大宗匠

（京都ロータリークラブ）

裏千家第15代・前家元 **千玄室** 大宗匠

【プロフィール】

1923年（T12）年京都生

文学博士

S39年千利休居士**15代家元**を継承（41歳）

裏千家今日庵庵主として**宗室**を襲名

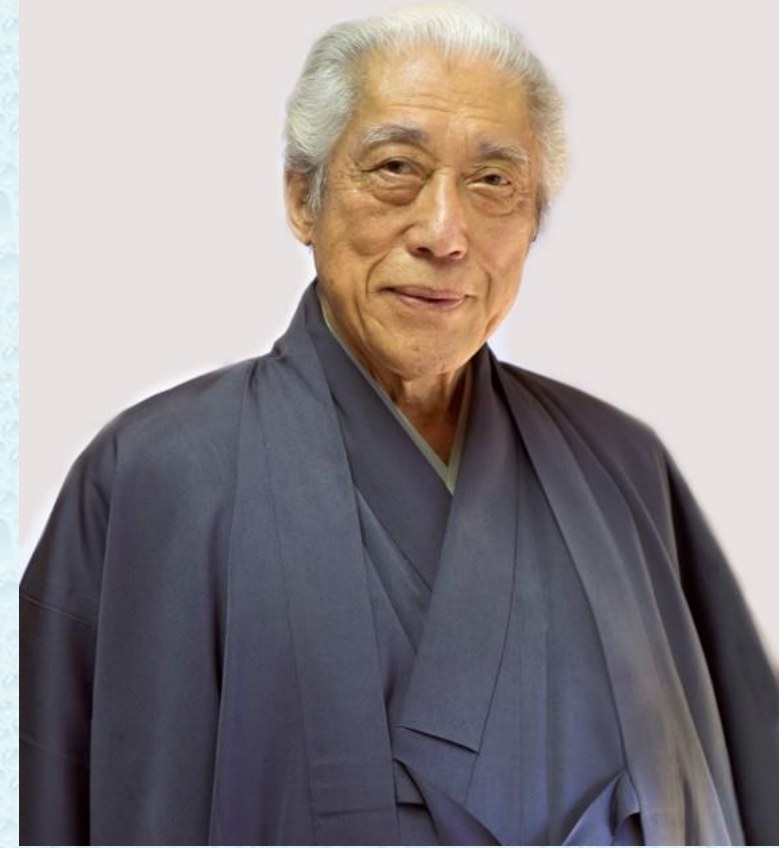
H14年嫡男に家元を上譲座し**千玄室大宗匠**に改名

「**一碗からピースフルネス**」の理念を提唱し国際的な
茶道文化の浸透と世界平和を願い、各国を歴訪

現在：外務省参与、ユネスコ親善大使、

（財）日本国際連合協会会長、（社）日本馬術連盟会長
京都大学大学院特任教授 他多数

紫綬褒章、藍綬褒章、文化功労者国家顕彰、文化勲章 他多数



裏千家第15代・前家元 **千玄室** 大宗匠

【ロータリー歴】

- | | |
|-------------------------|------------------------------------|
| 1954 (S29) 31歳 | 京都南ロータリークラブ創設につき チャーターメンバーとして入会 |
| 1965.7 | 京都ロータリークラブへ移籍 |
| 1972-73 | 京都ロータリークラブ会長 |
| 1975-76 | 国際ロータリー第2650地区ガバナー |
| 1975-81 | ロータリー日韓親善委員長 |
| 1983-85 | 国際ロータリー会長諮問委員 |
| 1998-90 (H10-12) | 国際ロータリー理事 |
| 1992-96 | ポリオ撲滅委員会国内委員長 |
| 2005 | 国際ロータリー栄誉賞受賞 (Rotary100周年で) |
| 2010-12 | 公益財団法人ロータリー日本財団会長 |
| 2012-現在 | 公益財団法人ロータリー日本財団理事長 |
| 2021 | 日本のロータリー100周年を祝う会委員長 |

千利休の先祖

今の群馬県の里見家

北条氏に滅ぼされ、足利義政 に仕える

相阿弥、能阿弥 という**阿弥**がつく文化補佐官

千阿弥という飾り付けをする仕事や御蔵番をしていた

足利家が滅び、子と共に大阪・**堺**へ逃れる

当時、堺は、**天領**であり、自由貿易で栄えており、町衆が大きな力を持っていた。これを**納屋衆**といった。

堺は、中国や南方との交易で潤っていた。

ここで生まれた**利休**は、商人には向かないと思ったのでしょうか、京へ行きます。

千玄室 大宗匠

- 茶家であり武家であった事から『**文武両道の精神**』を鍛えられた
- 8歳頃から馬に乗り、中学の頃は、軍事訓練、兎に角身体を鍛える
- 中学の先生から**満蒙開拓少年団**に行くとか、**予科練**とか**少年兵**になって陸軍や海軍に行くのも良いぞ と言われた
- 文系の学生18歳以上は、**全員徴兵検査**を受ける。これは**義務**である
- 大学1年生の時、たまたま大学の掲示板に海軍の訓練生という水上機班や陸上班の募集（大津の琵琶湖にて）⇨ 水上機をやってみようと呼募 ⇨ 合格（関西の大学から20名が選抜）
- 水上機の訓練⇨カッターの訓練、手旗、通信、飛行作業等習った。水練は特に大変であった
- 土浦の海軍航空隊に入隊⇨選抜された優秀な学生ばかり⇨試験に次ぐ試験で落ちると海兵団に戻り水兵に ⇨ 合格者は、**士官候補生**になる

- 徳島の海軍航空隊にて特別攻撃（特攻）の命が下る⇨搭乗員200名程⇒特攻隊に志願するか紙に書いて出す（否・希望・熱望）⇨**神風特別攻撃隊**⇨**待機命令**
- 鹿屋海軍基地（S20.5.19）⇨ここでもお茶が飲める茶箱のセット（旅篋筒）でお茶を点てて飲んで貰った。

福岡出身で京都帝国大学出の少尉が（裏千家の家の前を通学していた）『千ちゃん、頼みがあるんや、俺、生きて無事帰って来たら千ちゃん家の本格的な茶室で本マモンのお茶を飲ましてや』⇨これを聞いて、『**俺達は帰れないんだ**』と思った時、《もう胸の中が**張り裂けそう**で…》今でも声が聞こえてきます。

⇨彼は、それから一週間後に出撃して逝きました。

『**帝国海軍士官としてみんな、
誇りを持って死んでくれ**』

そんな訓示ばかりです

- 君達は、『**死にに来てくれたんだ、死にももの狂いでやれ**』
一年半掛かる処を10ヶ月でやれ！ 朝から夜まで飛行機詰め
- 当時の整備員は、凄かった！ あんなオンボロ飛行機を飛ばす
ようにするんだから・・・

- 南方戦線の硫黄島、フィリピン等は、凄かった。
随分戦死しました。
- ビルマ戦線では、挟み撃ちにあって飢餓戦線になり、
みんな倒れていった。一中隊で精々3人位しか
残らなかった。
 - ⇒ 私の教え子の一人がそうであった

•北方はへ行った者は、みんなソ連の捕虜になり強制労働です。

5年経って生きて帰って来た者は、皆幽霊みたいでした。

⇒ あの国は、酷い。

⇒世界で唯一の被爆国である日本がウクライナの事を

『他山と思って**はいけない。皆で助け合**わ**なく**は**』**

と提唱された。

この戦争はいったい何だったのか？

戦後、**77年間**、

『**私は じくじたる思いで**
生きてきました』

皆の顔が浮かびます。

私の背後には、特攻で戦死した人がいます。

戦友たちは『**自分が死ぬことで国が救われる**』という

気持ちで飛び立って逝きました。

421柱、その連中が

平和ボケしている今の日本を見たらどう思うか。

そのことを考えると**本当に申し訳ない気持ち**になります。

毎年靖国神社で陸・海軍の**戦没者慰霊祭**があります。

私は、生き残りとして毎年参列します。

このような事にならないために

ロータリーでいう（**超我の**）《**奉仕**》の精神が必要ですよ
「**Service above Self**」
自分を乗り越えた奉仕の精神が必要

浦田直前ガバナーの地区方針

『つねに**超我の奉仕**（Service above Self）を胸に』



『**先ずは自分のことよりも 世のために役立つ**事をしましょう』

これこそが **ロータリーの目的**（綱領）である『**奉仕の理想**（**理念**）』

「奉仕の理想(理念)」とは、

1、超我の奉仕 「Service Above Self」 (第1のモットー)

2、最も良く奉仕する者、最も多く報いられる (第2のモットー)
「He (One) Profits Most Who Serves Best」

3、他者への思いやり 「Thoughtfulness of Others」

4、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人に
しなさい「Most of All Treating Others as One Would Like to Be Treated」
(聖書「マタイによる福音書7章12節」の「黄金律」)

すなわち

「他人のために尽くすことが

自らの幸せであり・喜びである」

という 他人に奉仕すること自体を目的とする 「利他主義」 の思想である

これがロータリーの考えであり、「奉仕の理想（理念）」である

決議 23 – 34

1923 (T12) 年、全米ロータリークラブ連合会セントルイス大会で
上程された第**34**号議案である。

第1項

- ロータリーは、基本的には、一つの**人生哲学**であり、それは、
利己的な欲求と義務およびこれに伴う
他人のために奉仕したいという感情とのあいだに
常に存在する**矛盾**を和らげようとするものである。
この哲学は、「**超我の奉仕**」の哲学であり、
「**最も良く奉仕する者最も多く報いられる**」という
実践倫理の原理に基づくものである。

⇒ 1970(S45)年頃から**3Hプログラム**、**ポリオプログラム**等の人道奉仕を**団体**奉仕として進展させるために、**クラブの奉仕の自治権**や**個人の人格向上を理念とする決議23-34**は、その**進捗を阻む**ものと考えられ、再三規定審議会に**廃止案**が上程された。

⇒ これを憂いだ **千宗室RI理事**をはじめ、

日本の歴代RI理事の「**闘争**」と称した多大な努力

によって撤廃を免れてきた。

⇒ 2010(H22)年の規定審議会において**周知な準備**を行い

日本より上程された

「**決議23-34の第一項**を**奉仕の哲学**の**定義**とする」

との決議案が**ビチャイ・ラタクル元RI会長**の応援演説を得て

絶対多数で採決された。

決議 23 – 34

第1項

◎ロータリーは、基本的には、一つの**人生哲学**であり、それは、

利己的な欲求と義務 およびこれに伴う

他人のために奉仕したい という感情とのあいだに

常に存在する**矛盾**を和らげようとするものである。

この哲学は、「**超我の奉仕**」の哲学であり、

「**最も良く奉仕する者最も多く報いられる**」という

実践倫理の原理に基づくものである。

「奉仕の理想」を実践する **職業奉仕とは？**

1911(M44)年に Arthur Frederick Sheldon が語った「**奉仕の概念**」

我々ロータリアン個人が

「事業を行うとき、それが社会の人々を

幸せにする ことであらねばならない」

と語り、これが今、我々が「**職業奉仕**」とよんでいる原点である

この**職業奉仕 Vocational Service** という考えは

大宗匠は、ロータリーでは、**職業**の事を**Vocational** つまり**天職**、
天から与えられた**職業** である。私は**茶家としての天命**を受けている

ボランティア活動や寄付だけを目的とする

一般の奉仕団体とは全く違う「**ロータリー独自**」のものであり

我々ロータリアンすべての**心構え**であり

ロータリーの**基礎的な理念**となっている

これが「**職業奉仕**」である

ロータリーの本質

他の人のために生き、世話をし、奉仕することで

誰かの人生を豊かにすること、それは、

自分の人生の最高の生き方である

「誰かのために生きてこそ、人生には価値がある」

このロータリーの理念が世界の人々を幸せする ⇒ 戦争は起こらない

職業奉仕の理念を基礎とする**ロータリー理念**は、

◎人生において**人としてのあるべき姿**を導いてくれるもの

◎社長としてのあるべき姿（**王道**）の一つを学ぶことが出来るもの

◎我々ロータリアンは、

例会に出席して**親睦**を深め、**職業奉仕**を学び、

自己を**研鑽**し、**倫理**を高める

⇒ これが**日本のロータリーの伝統的文化**である

◎我々ロータリアンは、

奉仕の理念（理想）を実践する人、すなわち

自分でなく他者への思いやりの心を持って

他者への最善のサービスを行い

職業奉仕の理念（社会の人々を**幸せ**にすること）を

実践する人でなければならない

◎我々ロータリアンは、あらゆる生活
(個人生活・職業生活・社会生活等) において

四つのテストを自省し、

奉仕の理念 (理想) を実践する人である

⇒それが「社会の世界の平和につながる途」
である



慰霊碑前での献茶 I
(航空自衛隊岐阜基地)



2022 (R4) 年3月25日 (金)



慰霊碑前での献茶 II
(航空自衛隊岐阜基地)



千玄室大宗匠特別大講演

『みんな一緒 平和を』



講演風景（於：講堂内）



機上の千玄室大宗匠（航空自衛隊岐阜基地にて）

千玄室大宗匠へ進呈

三重県無形文化財

加賀 瑞山 作

国際ロータリー第2630地区
パストガバナー 加賀 修
(桑名西RC)

掛け分け桜花文茶碗

各務原ロータリークラブの皆様へ

御静聴、有難う御座いました

令和4年11月9日（水）
国際ロータリー第2630地区
職業奉仕委員会

委員長 原尾 勝

（岐阜北RC）